



◇第17回定時総会 開催

～6月11日(日)・早大東伏見キャンパス STEP22～



第1部の一般公開の講演会(亀田直美講師)は、「下野谷遺跡」という身近なテーマだけに興味も高く、聴衆は130人と盛況でした。(講演要旨は2ページ)

第2部で定時総会が開催されました。古賀会長を議長に活発な意見交換のあと、29年度の活動計画案や収支予算案など6つの議案すべてが承認されました。

なお、勇退された安村長生監査役の後任として、秋本武氏が新たに監査役に選任されました。総会の出席者は、来賓を含め84人でした。

第3部懇親会は、会場を体育教室に移して開催。来賓(鈴庄早稲田大学常任理事、坂口西東京三田会会長)の挨拶に続き、男性合唱団「コール JOY」の素晴らしいハーモニーで幕開けです。



コーラス最後の4曲目は、あの「早稲田の栄光」。

- ♪ 栄光はみどりの風に 花ひらく若き日の歌
- ♪ 重ね来し 歴史尊く 承継ぎて輝く早稲田
- ♪ 早稲田 早稲田 我らの早稲田…

早稲田マン・ウーマンの琴線に触れる名曲のハーモニーに、終了後しばし拍手が鳴りやみませんでした。

栗原東京三多摩支部副支部長(小平稲門会会長)のユニークな乾杯の発声で、和やかな懇談に移りました。

懇談の席上、ワセ女会主催「寺子屋支援バザー」の収益金目録が、北嶋千鶴子会長から、金子正男寺子屋理事長に贈呈されました。

(詳細は3ページ)

鶴田会員のリードで早慶両校の応援歌「紺碧の空」「若

き血」を全員で熱唱、そして校歌斉唱、エールの交換と続き、金子顧問の中締めで盛況裡に閉会となりました。

会場内での「稲門祭記念品販売」で32,000円の売り上げがありました。ご協力に感謝します。

緒方 章(S50・政経)



今後の行事予定

①校友会東京三多摩支部会会長会(総会)

8月20日(日) 於：コール田無

②2017 スポーツフェスタin東伏見 9月18日(月・祝)

③2017 稲門祭 10月15日(日)

・校友の祭典：テーマ「WASEDA for ALL, ALL for WASEDA ～今、青春の回想と新たな出発～

・三多摩支部模擬店「サロン・ド・三多摩」の出店に参加。また福引景品の協賛に「かりん糖」を提供。

④所沢キャンパス祭 2017 10月29日(日)

⑤早稲田祭 2017 11月4日(土)・5日(日)

・学生の祭典：テーマ「その一瞬に華ひらけ」

⑥西東京市民まつり 11月11日(土)・12日(日)

⑦東京三多摩支部大会 11月12日(日)於：大隈講堂

◆運営スタッフ(②③⑥)を募集します。ご協力をお願いします。

講演要旨

・テーマ：国史跡「下野谷遺跡」

～自然と生きる縄文人のムラを探索する～

・講師：西東京市教育委員会 亀田 直美氏



下野谷遺跡は西東京市東伏見にある今から4～5千年前の縄文時代中期の地域の拠点となるような大集落遺跡です。その規模や内容は南関東屈指のものであり、そのような大集落

が都心からすぐ近くに今も良好に保存されていることは、極めて稀で貴重なことから、平成27年3月10日に国史跡に指定されました。

下野谷遺跡から見つかっている住居や倉庫などの建物の跡は、お墓と考えられる穴が多く見つかる広場を囲むように建つ「環状集落」と呼ばれる集落で、周りにはクリやクルミなどの広葉樹が茂っていました。ムラは石神井川を見下ろす高台にあり、崖下は現在よりも水量も多く、湿地の広がる水の豊かな場所でした。

下野谷遺跡に暮らした縄文人は、そのような恵まれた自然とバランスよく共生しな



(写真提供：西東京市教育委員会)

がら、大きな戦いを起こすことなく、遠くのムラとの交流も行い、豊かな文化を紡いでいきました。

この下野谷ムラのあった場所にはわが早稲田大学東伏見キャンパスの一部が広がっています。そのような長い長い歴史の上に我らの久遠の理想は築かれていったと思うと感慨もひとしおではないでしょうか。

事務局からのお知らせ

◇2017 稲門祭記念品販売〔報告〕

今年も、記念品販売にご協力いただき誠にありがとうございます。記念品販売の収益は、校友会奨学金として母校の後輩たちを支援しています。

今年の西東京稲門会の目標額は、昨年同様190千円。7月1日現在の販売累計額は222千円（昨年実績210千円）。個人のお申し込みや各同好会の取りまとめのおかげで目標額および昨年実績を上回ることができました。さらなるご協力をよろしく願いいたします。

◇年度会費納入について

会計幹事 高橋 隆門

6月に開催された定時総会で、年度会費に関する質問がありました。会員の中にも本件について理解が十分でない方がおられるようなのでご説明いたします。

年度会費について、当会は平成24年度から従来の「店頭払込方式」に加え、新たに「自動払込(口座振替)」方式を取り入れて2本立てとしました。

会員にとっては、郵便局の店頭まで足を運ばなくて済む利便性があり、当会にとっても、納入率がアップして安定した会費収入の確保ができるなど、互いにメリットがあるためです。2本立てのどちらを選択するかは、会員に委ねることでスタートしました。

以来5年が経過し、現在は会員の6割弱が「自動払込」、4割強が「店頭払込」を選択しています。

今年度の納入実績を比べますと、「自動払込」は納入率が非常に高く、ほぼ全員が納入済みです。一方で「店頭払込」の場合は、6月末現在で4割近くの会員が未納です。

会則第15条第2項に「会費を3年間滞納した会員は、退会したものとみなす」とあります。そのような事態を避けるためにも、当会としては確実に納入できる「自動払込」を推奨しています。

別紙『年度会費納入「自動払込(口座振替)」のお奨め』を同封しました。ぜひご一読いただき、現在「店頭振込」を選択している会員の皆さまには、この際「自動払込」へのシフトをご検討いただきますようお願いいたします。

会員の動向

◇会員計報

・石井 唯夫 殿(S38・政経)

平成29年2月5日 永眠(享年77歳)

・山口道太郎 殿(S31・高工研)

平成29年3月26日 永眠(享年85歳)

・江澤 重明 殿(S27・政経)

平成29年6月4日 永眠(享年92歳)

謹んでご冥福をお祈りいたします。

◇新入会員

・斎藤 明哲(H20・商) 4月13日入会

・亀田 直美(H2・文研修) 6月11日入会

・稲葉 佳代(H17・商) 6月11日入会

ワセ女会

◇寺子屋支援のバザー 収益金 3 万円超

～アースデーフェア in 西東京～

5 月 28 (日)、梅雨入りの天気を心配しつつ準備を重ねてきた、ワセ女会初のイベントの日です。当日は見事な晴天。いこいの森公園のブースに、稲門会の皆さんからバザー出品用に戴いた沢山の品物を並べました。



陶器、タオル類、絵本、小説、変わったところでは、猫用の砂等、等。

午前 10 時のオープニングで、会長の北嶋さんが、寺



子屋の主旨、そこにボランティア活動して下さる先生方の交通費とテキスト代のためのバザーであるとアピールし、販売開始。当日の気温が上がって暑かったせいか、タオルやクーラーボックス等の夏物から売れ始め、子どもたちの喜ぶぬいぐるみ類、柳沢公民館染色の会サークルから寄付して戴いた手染めのスカーフなど目玉商品が売れ始めました。

昼のピークの時間に、理事会を終えた寺子屋の役員ら稲門会男性陣も加わってバザーも佳境に入り、あっという間に午後 3 時の終了時間となりました。



バザーの収益は 32,330 円也。何とか面目躍如となったのでは！出品して下さった方、お買い上げいただいた稲門の皆様方ありがとうございました。ワセ女会のメンバーは、当夜は達成感とアルコールで心地よく酔いしれたようです。 高橋るみ子(S51・文)

寺子屋だより

◇組織的支援に感謝

ワセ女会が寺子屋支援のバザーを開いて、収益金 32,330 円を定時総会の懇親会席上で北嶋千鶴子会長から頂戴しました。また、中野秀男常任幹事が東京支部長を務める日本ツツジ・シャクナゲの会から 37,451 円の寄付をいただきました。このような多くの方々に関わる団体組織からの支援は本当に心強く、ありがとうございます。

寺子屋は 8 月も自立学習教室として、オープン教室の夏期講座を開きます。指導者も生徒も少し汗をかいながらがんばります。ボランティア活動の NPO 法人で運営しているので稲門会会員が正会員の中核になることが安定運営に必須です。

稲門寺子屋西東京 理事長 金子 正男

いなほ会

◇40 歳以上限定の「婚活パーティ」開催

いなほ会主催の婚活パーティを、6 月 17 日(土)吉祥寺東急 REI ホテルで開催しました。今回は参加者の年齢を男女とも 40 歳以上に限定して行いました。参加者は男性 9 人、女性 11 人のあわせて 20 人でした。

午後 3 時半にスタートし、男女全員が 1 対 1 で持ち時間 2 分で自己紹介を行いました(事前に作成したプロフィールカードを活用)。休憩後のフリータイムではワイン、ビールそしてケーキ等を召し上がりながら、少しリラックスして気になる相手に果敢にアタックしている雰囲気がとても印象的でした。緊張感をほぐすための輪投げゲームがより一層効果を上げたようです。



帰りに再会希望シートを提出してもらった結果、マッチングした男女が 2 組ありました。成婚に向けて順調なお付き合いが続くことをいなほ会としては期待するところです。以前に 2 組の成婚のご報告をしましたが、今月新たに 1 組の成婚の報告を受けています。去年の BBQ パーティでの出会いがきっかけで、いなほ会 3 組目の成婚です。

いなほ会会長 竹島亜機雄

早稲田トピックス

◇早大生 南谷 真鈴さん(20)世界最年少で

「冒険家のグランドスラム」達成



南谷真鈴さん(政経学部3年)が、4月13日に北極点到達に成功。北極点と南極点、そして世界7大陸の最高峰のすべてを制覇する冒険家のグランドスラムを、世界最年少の20歳112日で達成した。おとし1月に挑戦を始

めた南谷さんは、去年5月エベレストの登頂に成功、そして4月北極点に到達した。

冒険には旅費や滞在費、ガイド料や入山料など、相当額の資金が必要。しかし、南谷さんは父親から「応援はするけれど、一切の資金援助はしない」と宣言されていた。このため、スポンサー交渉から獲得まですべて自分の力で成し遂げている。

次は冒険の舞台を山から海に移し、今年7月から南アフリカで5か月間のトレーニングを積んだ後、世界一周を目指すという。

◇⊕早慶戦 1勝2敗 早稲田4位に沈む

5月27日(土)1回戦 快晴。どちらも2連勝すれば春季リーグ優勝とあって、神宮球場に早慶両校あわせ観客30,000人超が応援に駆け付けた。



連勝のつもりで神宮に乗り込んだワセスポメンバーだったが、満塁ホームランを2本も打たれて…、5-8で敗れ、これで優勝の芽は摘まれてしまった。残念!

当然のことながら勝ち負けは度外視し、終了後いつもの新宿「魚や一丁」で反省会。来年早稲田に入学するであろう? 「清宮幸太郎」君の話題で盛り上がり、大いに気焔をあげた。

翌28日の2回戦は早稲田が雪辱を果たし、慶應の優勝もなくなり、春季リーグ戦は立教の優勝となった。

◇青木 宣親選手 日米通算 2000 安打達成!

アメリカ・メジャーリーグ、ヒューストン・アストロズの青木宣親選手(2004・人科卒)が、6月11日のエンゼルス戦で、日本人選手で史上7人目となる日米通算2000安打を達成した。



青木選手は、日本のプロ野球で8年間、大リーグ6年目での達成となり、日本人選手ではイチロー選手、松井秀喜さんらに続く7人目の快挙。

◇全国支部長会・商議員会の報告

7月1日(土)、総長招待全国支部長会と2017年商議員会が開催されました。大学の近況・動向について報告します。

1. ダイバーシティ推進について

“ダイバーシティ(多様性)の尊重と推進”は、教育・研究の質を飛躍的に向上させ、「アジアのリーディングユニバーシティ」として、世界へ貢献する大学であり続けるために不可欠であるとの認識の下、推進体制として下記が開設された。

①ダイバーシティ推進室(2016年7月開設)。

大学全体に対する男女共同参画・ダイバーシティ推進の施策の企画を推進する。

②スチューデントダイバーシティセンター(2017年4月開設) 学生支援に関する実行組織。

③早稲田大学ダイバーシティ推進宣言(2017年7月1日公表)。

2. 総長選挙制度検討について

2018年の総長選挙の実施に向けて選挙制度のあり方の検討が行われています。教職員、校友など大学を支える人びとが幅広く総長選挙に参加することを目指しています。主な検討事項は…

①総長候補者選出は、推薦委員会を廃止し立候補制とする。

②学外選挙人を現行の200人→1100人に増員し、選挙人の範囲を商議員全員とする。学内選挙人は現行通り約2,200人とする。但し、選挙人の学内外比率は3:1とし、一部の学内選挙人は1票につき1.5倍とする。最終決定は10月以降の見通し。

会長 古賀 良郎

同好会活動

◇テニス同好会～東村山稲門会との交流練習～

4月22日、晴天のもと東村山稲門会テニス同好会を招いての交流練習を行いました。アウェイ東村山から5人、ホーム西東京8人の参加で、まずは軽くウォーミングアップ。日ごろは海千山千の面々も、実は紳士か人見知りなのか、少し緊張している様子でした。それとも、「われらのレベルの高さを知らしめねば」と、内心、闘志を燃やしていたのでしょうか。

「これ、地元のです」と差し出されたお土産は、だいたいじょうぶだァー饅頭とだいたいじょうぶだァーどら焼き。

♪東村山～庭さきゃ多摩～湖♪の歌と踊りが浮かびます。「東村山は、いまだに志村けんなんだ！甘すぎなくて、おいしい！」と、たちまち打ち解け、2時間のゲーム練習と、さらに2時間の大会（わりとガチな試合）が、終始



和やかな雰囲気で行われました。

近隣稲門会との交流は、よい刺激になります。東村山のだいたいじょうぶだァー精神を取り入れて、われらのテニスもさらにレベルアップしていきましょう！

松原 理恵 (S60・文)

◇陶門工房の地域活動

柳沢公民館は、今年で30周年を迎える。記念事業として12月5日(火)～10日(日)の6日間、日頃の活動の成果をアピールするため展示、発表のイベントを開催する。この公民館で活動する陶門工房も、陶芸品の展示をする。他のサークルも展示するはずで、ぜひ観覧され興味を持っていただけると幸甚です。

イベントの一環として、8月に子どもと大人のための陶芸教室が企画されており、陶門工房も協力します。公共の場なので、西東京稲門会の同好会ということも前面に出すことは控えています。陰ながら地域社会への貢献を果たしたい所存です。各サークルの経歴、宣伝集の冊子も印刷され、陶門工房のコミーシャルも掲載されます。機会があったらご覧ください。

中野 秀男 (S30・法)

◇ゴルフ同好会

～春の稲門会コンペ開催～

5月24日(水) 埼玉県の高坂カントリークラブで開催。予定通り5組20人でスタート。



当日はピーカンでもなく、時折曇りで爽やかな風が吹くゴルフ日和。参加者各位初めての岩殿コースでしたが、ニアピンの取り合い、ドラコンの飛ばし合いと日頃の腕を披露し合いました。

成績は、優勝、準優勝は三田会会員が独占、辛うじて3位に当会の根岸さんが入るという残念な結果でしたが、プレー終了後のパーティでは同組でラウンドした4人で着席し、互いの健闘を称え合いました。

参加者全員が秋のコンペ10月26日(木)高坂CCでの再会と健闘を誓い解散しました。

◇秋季コース練習会開催

9月22日(金)、川越GCで開催します。

参加申込の締切は、9月10日(日)原田まで。

原田 一彦(S46・商)

◇麻雀愛好会

～9月から芝久保公民館で活動再開～

稲門麻雀愛好会の月例会を、この9月から芝久保公民館で再スタートします。開催は毎月第3日曜日13:00～18:00。参加費¥1,000。

なお毎年2月と8月は近隣6稲門会(西東京、東村山、国分寺、小平、小金井、立川)による交流試合&懇親会を行います。わが麻雀愛好会は直近の8月20日(日)の大会(国分寺会場)に向けて目下、6人チーム編成の選考に入っています。

健康麻雀(賭けない、飲まない、吸わない)は、高齢者の脳の活性化に役立つとされています。若さを保ちたい方、青年の心を失いたくない方は、気晴らしにぜひ当会ご参加を！

岩田 勝孝 (S43・政経)

会員短信

◇木下 睦 (S33・理工)



～囲碁・俳句を楽しむ日々～

早稲田大学のOBや現役の学生らが参加するオール早稲田囲碁祭が、6月3日(土)日本棋院市ヶ谷本院で開催された。30の地域稲門会から162人が参加し、1人4試合を戦う競技である。

東久留米・西東京の合同チームは、AクラスとDクラスに参加。競技の結果は、Aクラスで、堂々の総合優勝を飾った。Dクラスでは入賞はできなかったが、小生は3勝1敗の望外の好結果だった。東久留米稲門会の囲碁会での、草刈正守9段の指導の賜物と感謝している。

同好会は俳句サロンにも参加し、毎月第2金曜日に近隣稲門会の仲間も含めた十数人の老若男女が集い、侃々諤々と楽しんでいる。囲碁も俳句も、認知症の防止に役立っているようだ。2月に亡くなられた俳句仲間の石井唯夫さんへの追悼の拙句を捧げたい。

友逝けり冬の花火の舞ふごとく(石露)

◇横瀬 弘幸 (S43・教、H5・教研修)



～英語教育変遷～

英語教授法の大家イエスペルセンは、ことばの勉強は音声から入るべきであり、読むこと書くことは二の次であるという。日本人の英語学習は逆であり、受験のための英語教育である。

都内で高校の英語教師になり、英語教育に憂いを感じ、日本で初めてアメリカでのホームステイを立ち上げた。若者に生きた英語に触れさせたくて、英語圏に春夏のプログラムに生徒を送り出している。参加した生徒数は延べ1万人を超える。

ようやく日本は重い腰を上げ、小学校に英語教科を導入することになり、また3年後からは大学入試共通テストが行われる。文法中心を解消し、話す力に重点を置く英語となる。中学、高校、大学と48年間教えてきた私には、日本の“あけぼの”である。

私は古希を既に迎えたが、体が動く限りこのボランティア活動に夢を持ち続けている。

地域情報

◇「しゃきしゃき教室プレミアム」で

健康寿命を伸ばそう!

早稲田大学スポーツ科学学術院では、内閣府戦略的創造プログラム(SIP)の研究の一環として、時間運動学、時間栄養学に基づく研究を行っています。

具体的には、運動やスポーツをどのようなタイミングで行い、どのような栄養素をどのタイミングで摂取すれば、高齢者の脳機能や運動機能の維持向上に役立つのかを突き止めることを目的としています。

題して「しゃきしゃき教室プレミアム」は、同学術院と地元のスポーツクラブが連携して、早稲田大学東伏見キャンパスで開催しています。

教室は65歳以上の男女80人が参加する大規模実証実験で、6月から9月まで全12回のコース。大学からの要請もあり、数人の当会会員が、同学術院の川上泰雄教授の指導で健康長寿を目指して運動に取り組んでいます。

6月27日(火)に開かれた教室では、ストレッチ→



しゃきしゃき体操→イスの座り立ち→大股歩行→整理体操というメニューをこなした後、脳トレーニングを含んだ運動に取り組んでいました。

教室に参加した原田副会長は、「稲門会がきっかけで参加できて良かった。集団で行うことで運動を継続的に出来るし、健康意識を高められる」。大久保副会長は「身体がほぐれて良かった。この体操は楽しく行えるので続ければ効果的ではないか」と話していました。

自宅では、毎日魚たんぱく質とオリーブの実で作られた機能性食品の摂取も行います。

超高齢社会が進展していく中で、健康寿命を一日でも長く伸ばすための実証実験という重要な取り組みに、西東京稲門会が積極的に参画していることは大変意義深い事であると感じました。

取材：納田さおり (H5・人科)

自転車日本一周の旅⑥(期間：H26. 03. 16~26)

竹森 英次(S51・工研修)

パトカーに PICKUP されて、次の宿泊予定地の熊野へ。パンク修理を終えて、宿探し。ところが、次の日、県内のソフトボール大会があり、ホテルが満杯。「そんなの知らないよ！」この頃は行き当たりばったりで宿を探していたので、こういうことも。奮起して次の宿泊予定地の紀伊勝浦へ。さっそく宿探し。ビールを頼んだら、きんぴらごぼう、漬物等つまみまで付いてくる at HOME な民宿を見つけることができた。

翌朝、森林に囲まれた、厳かな雰囲気的那智の滝を



鑑賞して、紀伊半島の突端、串本へ。

串本市に張り出た大島には、明治23年9月に、トルコの巡洋艦「エルトゥール号」

が遭難した際、大勢の乗組員が日本人に助けられたという、友好関係を示す記念碑および記念館がある。串本で、マグロの刺身、しっぽの脂の乗ったアヒージョを堪能して、次の紀伊半島西側の白浜へ。

白浜への路は坂道が多く、自転車を手で押して上げていると、さっそうとツーリングしている若者が「おじさん、頑張っていますね!？」と声をかけてくれた。

2人で写真を撮って、メール交換。後日分かったのですが、息子と



白浜から日の岬泊、和歌山へ。日の岬では、夕日と朝日がホテル内の廊下を隔てて、一か所で見ることができた。

和歌山へ向かって走っていると、醤油の大きな看板がここかしこに。和歌山の湯浅町は醤油の特産地なのだそう。また、金山寺味噌も特産品である。



今回の輪行では、紀伊半島を一周することを目的に大阪まで行く予定だったが、10日間という長丁場で疲れ切り、和歌山で帰ることにした。

お尻が腫れあがっていた。愛知県知多半島から始め、三重県、和歌山まで、682.71kの走行距離でした。

珠玉のエッセー

◇投了のタイミングにも、散り際の美学がある

羽生 善治(棋士・3冠)



日本以外の国々では、将棋やチェスは純粋な頭脳スポーツと位置づけられている。中国の将棋は国家体育总局が管轄している

ほどで、北京オリンピックの年には、チェスや囲碁などとともに国際大会が開催された。

しかし、日本の将棋は、単に勝ち負けを決め、優劣を競い合う頭脳スポーツやゲームと言い切れない面がある。駒の並べ方ひとつとっても作法や流儀があり、所作としての美しさが求められる。対局の際には、着物の襟を正して相手と対面する。こうした独自の様式美の世界が他の頭脳スポーツやゲームとは一線を画し、日本の伝統文化として今日に伝えられている由縁であろう。

我々プロの棋士は、王将が詰まされるまで指さずに投了する。事実上勝負が決している場合には潔く負けを認めるのである。どんな対局でも勝負の終盤、この一局を終わらせるにふさわしい場面がある。そこには勝者と敗者が互いに相手の気持ちをおもんばかりの阿吽の呼吸のようなものがある。そのタイミングを見極めることができずに指し続けるのは見苦しいことで、日本人ならではの散り際の美学に反するものである。

過去の対局で「相手との呼吸が合った美しい将棋ですね」と言われたことがある。何をもち美しと感じるかは人によって受け止め方が違うと思うが、美しい将棋は伝統として残っていてほしいと考えている。

(株式会社クマヒラ発行：「抜粋のつづり」より)

会報47号の原稿募集

◇題は自由。日常と取り組んでいる趣味、ボランティア活動、健康対策などを紹介してください。

◇会員短信は、卒後60年・40年・30年の方。

◇字数…概ね400字程度

◇原稿の締め切り…11月10日

◇送り先…佐野 信男

・郵 送：〒188-0001 谷戸町2-1-24-1507

・メール：sin-sano@grandgio.jp

【会報編集委員】岩田 勝孝 大久保健仁 緒方 章

齋藤 武子 島崎 征郎 高橋るみ子 原田 一彦

お城巡り⑥

◇世界遺産と国宝の名城 姫路城

島崎 征郎 (S37・法)

姫路城は 1993 年に日本で初めて世界遺産に登録された城である。丘の上に聳えたつ、五重六階の大天守と3つの小天守を持つ白亜の城は、白鷺城の別名で知られている。



南北朝時代の創築とされる姫路城を近世城郭に造り変えたのは羽柴秀吉だが、今日の姿にしたのは家康の女婿だった戦国武将・池田輝政である。9年の歳月を費やし慶長14年(1609年)に完成した。

姫路城はこれまで明治、昭和、平成と3回にわたって大修理が行われたが、平成27年に終わった平成の大修理によって、白亜の大天守が今見事によみがえった。天守全体が白く輝く秘密は、白漆喰しろしっくい総塗りごめという工法で、外壁を白漆喰で塗り籠めるだけでなく、屋根瓦の目地にも白漆喰を使用したことにある。今回の白漆喰には昭和の大修理で初めて採用された土佐漆喰が使用されている。土佐漆喰は、耐久性が高いことで知られており、江戸時代には無かった材料である。

今回の大修理では、大天守で新たな発見があった。最上階(6階)で土壁を解体したところ、窓をつくるための敷居しきいと鴨居かもいが発見された。現在最上階には南北それぞれ5個、東西に3個の計16個の窓があるが、今回はそれぞれの面に2個の窓枠が確認された。いずれも築城当時のもので、築城中に計画を変更したとみられている。城郭建築の専門家は「重い屋根を支えるために8面の耐力壁を作った」とみており、天守の総合的な力学上のバランスは見事にとれていたと言う。江戸時代初期、姫路城築城に携わったサムライの英知と職人の高度な技術に驚かされる。

この姫路城も、明治以降2度存亡の危機に直面したことがある。最初は明治6年の廃城令によって民間に払い下げられたときである。この時、陸軍の中村重遠大佐が奔走して破壊を免れた。2度目は昭和20年の空襲で焼

夷弾が天守や西の丸に落ちたが、幸いにも不発だった。

悠久の時を味方にした幸運の城・姫路城は青空のもと今日も我々を待っている。

リレー随想

◇東北 桜紀行

齋藤 武子 (S42・教)

数年前、“おわら風の盆”に行った学生時代の気心の知れた4人組で今年は東北の桜を観に行きました。

北上展勝地、角館屋敷通り、桧木川内堤の桜並木で一日目が終わり、二日目は弘前城公園、小岩井牧場、石割桜を観て周りました。

平民宰相原敬の俳号から名づけられたという展勝地の「一山園」は枝垂桜が「私たちを観てください」と言わんばかりに咲き誇っていました。樹齢90年以上のソメイヨシノが青空を被うかのようなトンネルになり、長く続く様は正に圧巻でした。私の目標も“健康寿齢90歳”。念じながらトンネルを歩きました。

角館の武家屋敷通りは、重厚な屋敷を囲む黒い板塀と桜が見事に調和し、風情があり城下町の雰囲気そのまま残っているような歴史を感じました。

弘前城は、本丸からの展望が最高でした。城を囲む桜の大樹とお濠に舞い散った花びらの作る「花筏」。



花筏という言葉の響きに酔い、しばらく眺めていた時に浮かんだ一句。

兵(つわもの)の夢跡覆い花筏(虹梨)

日本語は風情があり、繊細で素敵です。

【編集後記】

棋士の最年少記録、連勝記録を塗り替えた藤井聡太四段。彼を“素晴らしい後継者”と讃えて引退したレジェンド「ひふみん」。これも羽生3冠のいう散り際の美学か。寺子屋支援のバザーは、男には思いもつかぬ発想。ワセ女会ならではのアイデアとパワーで、これからの稲門会活動に“喝”を。(N・S)